

プロジェクトをデザインする

システム思考

デザイン思考

PROJECT DESIGN CAMP

SDMI
System Design and Management

第6回「システム×デザイン思考」を実践に生かす
プロジェクト・デザイン合宿研修

2014 11.4(火)→11.6(木) / 12.2(火)→12.4(木) 計6日間

【後援団体】



一般社団法人 PMI日本支部



一般財団法人
エンジニアリング協会



特定非営利活動法人
日本プロジェクトマネジメント協会

【主催】



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター



システム×デザイン思考をベースにした イノベーティブな構想力

Phase 1 ◀3日間

11.4→11.6

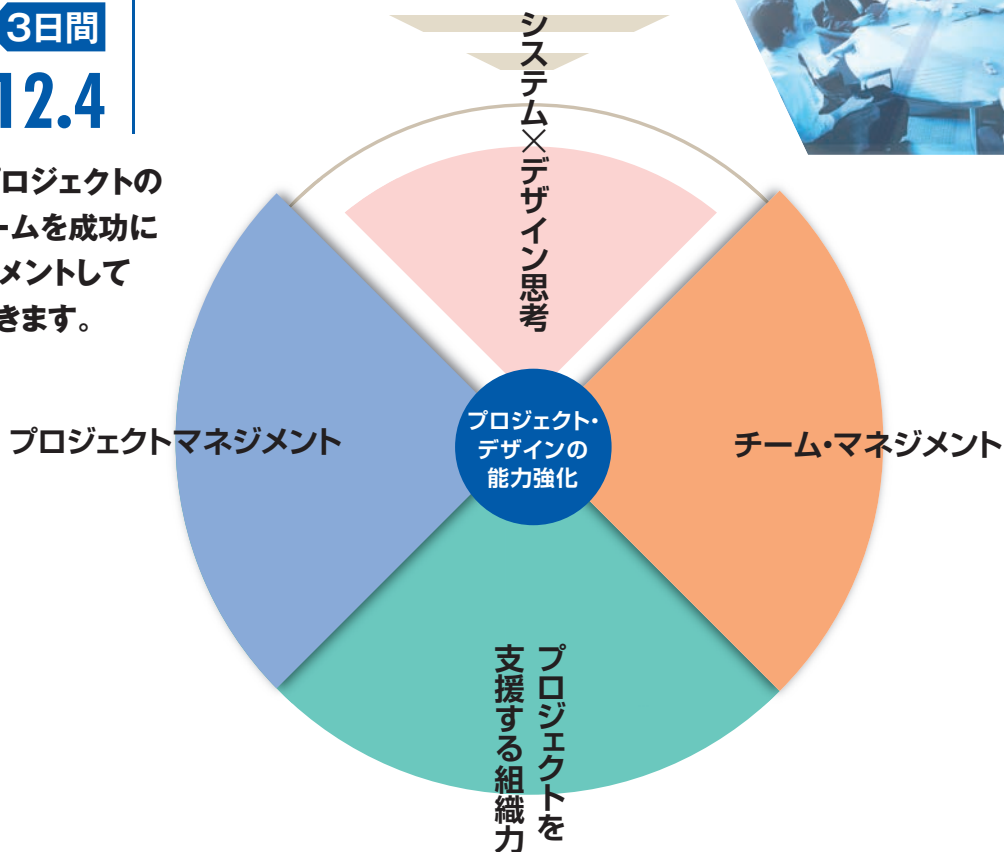
幅広い知識から知恵をつくして、
プロジェクトの中身を
設計していくプロジェクト・
デザイナー能力を
磨きます。



Phase 2 ◀3日間

12.2→12.4

立ち上げたプロジェクトの
舵をとり、チームを成功に
向けてマネジメントして
いく能力を磨きます。



全体を把握しながらプロジェクトを推進する 戦略的実行力

研修内容



システム×デザイン思考

- 「木を見て森も見る」全体のバランスを捉えながら詳細を設計する力を強化
- システム思考とデザイン思考を統合したイノベーションを創出する問題解決力
- 激動の時代を生き抜くための、思考様式・行動様式の改革

プロジェクトマネジメント

- グローバルビジネスを成功に導くためのスキルの強化とツールの習得
- プロジェクトマネジメント遂行技術の強化と伝承の方策
- プロジェクトの効果的進捗管理と変化に対応する判断力の育成

チーム・マネジメント

- 情報の共有化によるチーム・マネジメント構築のリーダーシップ強化
- 葛藤処理におけるリーダーシップ
～「人に優しく、議論に厳しく」
- 迅速な意思決定と論理的なコミュニケーション能力の修得

プロジェクトを支援する組織力

- 様々なリスクを予測・分析し、回避につなげるリスク・マネジメント
- 契約上の法的要請に対応できるリーガルマインドの育成
- 効果的なプロジェクト遂行のためのPMO機能と技術基盤



世界へ展開していくための、新しい思考能力と、リーダーシップの考え方が必要な時代になっています。

世の中の変化が激しく複雑・多様化している現代社会において、少子高齢化、自然災害、エネルギー不足、領土問題、国際競争力の低迷など、日本は数々の問題に直面しています。複雑になればなるほど重要度を増してくるのが、全体を見渡せる力と問題の本質を多視点で捉える思考能力です。

システムデザイン・マネジメント研究科では、独自の「システム×デザイン思考」を取り入れた新たなプロジェクト・デザイン手法を提案しています。本研修では、この手法により全体を見渡しながらかプロジェクトをデザインする構想力を養うとともに、それを成功に導いていく実践的かつ戦略的な遂行能力とマネジメント能力を兼ね備えた「プロジェクト・デザイナー」を育成します。

セミナーコーディネーター 当麻 哲哉 Tetsuya Toma

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 准教授 博士(システムデザイン・マネジメント学)、Project Management Professional (PMP)、PMI 日本支部理事(研究担当)。米国3M社で製品開発スペシャリストとして、グローバル市場での数々のプロジェクトを経験。豊富な新製品導入実績により多数の社内報奨を受賞した。2008年4月より現職。システムデザイン・マネジメント研究科のコア科目「プロジェクトマネジメント」を担当。

チームを成功に導くための リーダーと組織のマネジメント能力

Management



コーチ陣



高橋 良之

ヘッドコーチ 高橋 良之 Yoshikuni Takahashi

日揮プラントイノベーション株式会社顧問
1964年日揮株式会社入社、国内・海外の石油精製、化学、食品加工、家電、自動車関連プラントのプロジェクトをプロジェクトマネジャーとして担当。エンジニアリング振興協会(当時)では、80年代にプロジェクトマネジメント部会委員を務める。現在は大学を含めたプロジェクトマネジメントの講座、研修会の講師、コンサルタントなどを行っている。

岩下 貢 Mitsugu Iwashita

株式会社日米コミュニケーションセンター所長
南カリフォルニア大学大学院博士課程に2年間在学し、「Debate and Argumentation」のコーチを務める。その後、山武、マツダ自動車、デンソー、NEC、IBM各社の海外進出にあたってのマネジメント作成、市場戦略作成、社内外の効果的折衝方法などのセミナーへ参加、助言を行っている。

白坂 成功 Seiko Shirasaka

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授 博士(システムデザイン・マネジメント学)/Project Management Professional (PMP)
三菱電機株式会社では「このとり」(HTV:H-II Transfer Vehicle)の開発でアビオニクスアーキテクチャ設計、システム安全設計をはじめ、全体インテグレーションを行う。フライトコントローラとして運用終了まで実施。「このとり」開発では多くの賞を受賞。2011年度より現職。専門分野は、システムズエンジニアリング、宇宙システム工学、システム安全/機能安全。

◆チーム・マネジメント



岩下 貢

◆システム×デザイン思考



白坂 成功

◆プロジェクトを
支援する組織力



古屋 邦彦

◆システム×デザイン思考

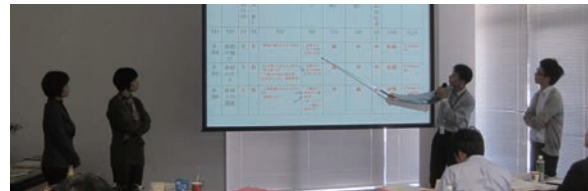


米澤 創一

◆プロジェクトマネジメント



大塚有希子



古屋 邦彦 Kunihiko Furuya

元九州国際大学大学院法学研究科教授
1966年総合エンジニアリング会社日揮株式会社に入社。一貫して法務部門に在籍し、国際契約(プロジェクト、知的財産ライセンス、M&Aなど)を担当する。1990年エンジニアリング振興協会契約法務研究会委員長。2003年同協会より第23回エンジニアリング功労賞受賞。2000年より九州国際大学に移り2014年3月まで国際取引法、企業法務、企業のリスク・マネジメント等を担当する。

米澤 創一 Soichi Yonezawa

アクセンチュア株式会社 テクノロジーコンサルティング本部 SAPビジネスインテグレーショングループ 統括マネジメント・ディレクター
京都大学経済学部経営学卒業。Northwestern Univ. Kellogg Advanced Business Management Program修了。アクセンチュア株式会社にて品質管理責任者、プロジェクトマネジメントグループ統括、教育責任者等の役割を歴任。現在はテクノロジーコンサルティング本部における最大のグループの一つを統括し、組織運営、後進の育成を行う立場にある。

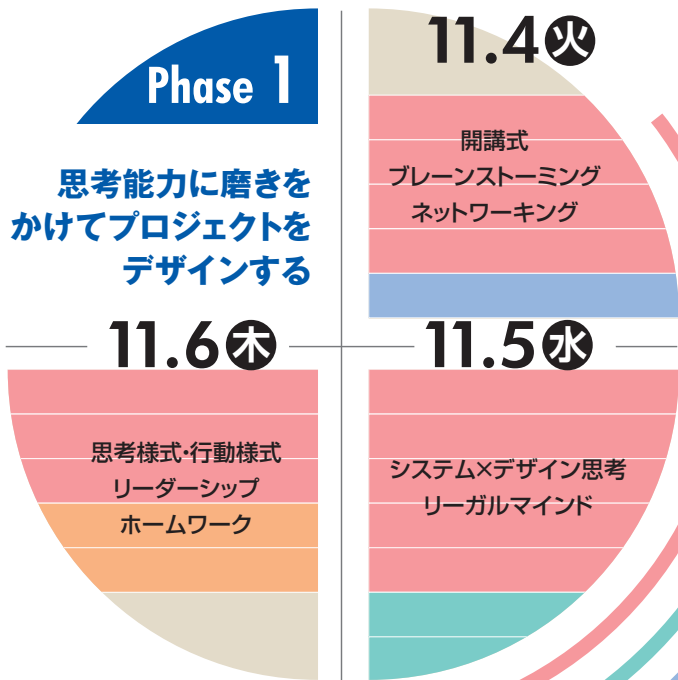
大塚 有希子 Yukiko Otsuka

株式会社富士ゼロックス総合教育研究所 PM(プロジェクトマネジメント)・BA(ビジネスアナリシス)コンサルタント。経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、表彰など。金融機関人事部門、戦略企画部門を経て、現在は、戦略・マネジメントに関するコンサルティング、制度設計および人材育成を行っている。SDM研究所のPMP®資格取得講座も担当。

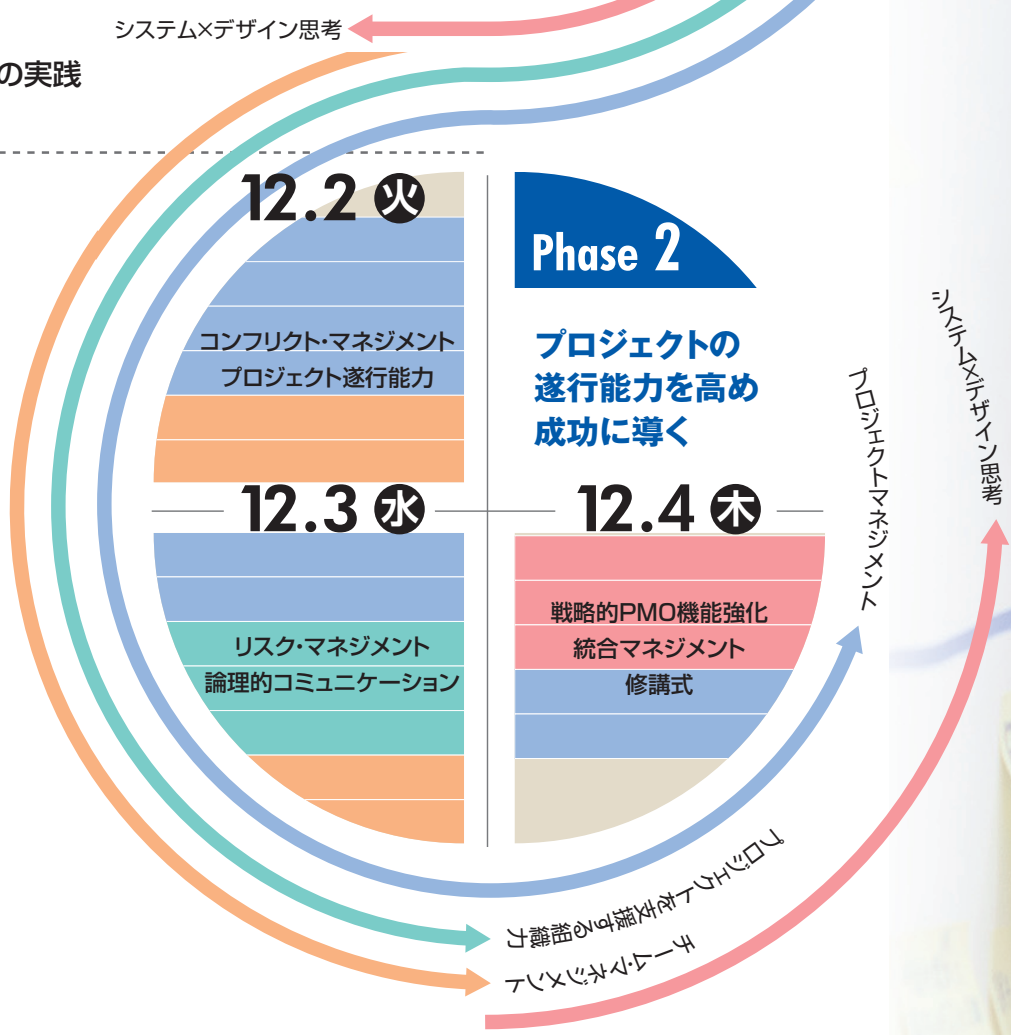
プロジェクトをデザインするための 4つの能力を養う異業種交流型・ 合宿制研修

- システム×デザイン思考
- プロジェクトマネジメント
- プロジェクトを支援する組織力
- チーム・マネジメント

カリキュラム



職場での実践



全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡しします。
(ご希望の方には最大48PDUの「受講証明書(カテゴリー-B)」も発行します。)



第6回 システム×デザイン思考による プロジェクト・デザイン合宿研修 募集要項

期 日：2014年11月4日(火)～6日(木)、12月2日(火)～12月4日(木)

会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館

募集定員：25名

対 象：グローバルプロジェクトのリーダーを目指すビジネスプロフェッショナル

受 講 料：250,000円(税別) ※宿泊費は別途お納めいただきます

申込方法：WEBサイトよりお申込ください。

協生館宿泊施設

合宿形式セミナーのため、11月4日(火)、5日(水)および12月2日(火)、3日(水)は、原則として協生館内の研修宿泊施設へ宿泊していただきます。

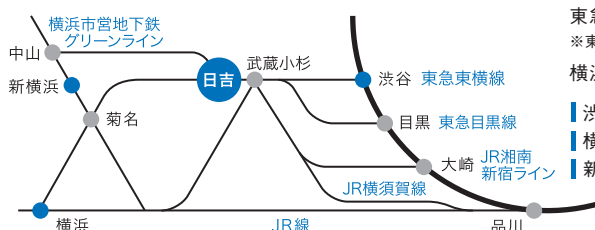


システムデザイン・マネジメント研究所 (SDM研究所) とは?

SDM 研究所は、企業をはじめ社会のあらゆる組織におけるシステムデザイン・マネジメントの理解とマネジメント能力の向上のため先端的研究・教育を行い、広く社会の発展に寄与することを目的として設立された研究科附属の研究所です。

公開講座・講演会・セミナー等の開催ならびに講師派遣、システムデザイン・マネジメントに関する研究調査、外部機関との研究プロジェクトの推進、国際機関・世界各地の大学および研究機関との協力・提携ならびに交流などの事業を行っています。

● 交通アクセス



東急東横線、東急目黒線
※東急東横線の特急は日吉駅に停まりません。

横浜市営地下鉄グリーンライン

■ 渋谷～日吉：急行18分(通勤特急16分)

■ 横浜～日吉：急行12分(通勤特急10分)

■ 新横浜～菊名～日吉：14分

日吉駅直結

● お問い合わせ先

慶應義塾大学
日吉学生部 SDM担当



〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2F
Tel: 045-564-2518 Email: sdm@info.keio.ac.jp

<http://www.sdm.keio.ac.jp/>